

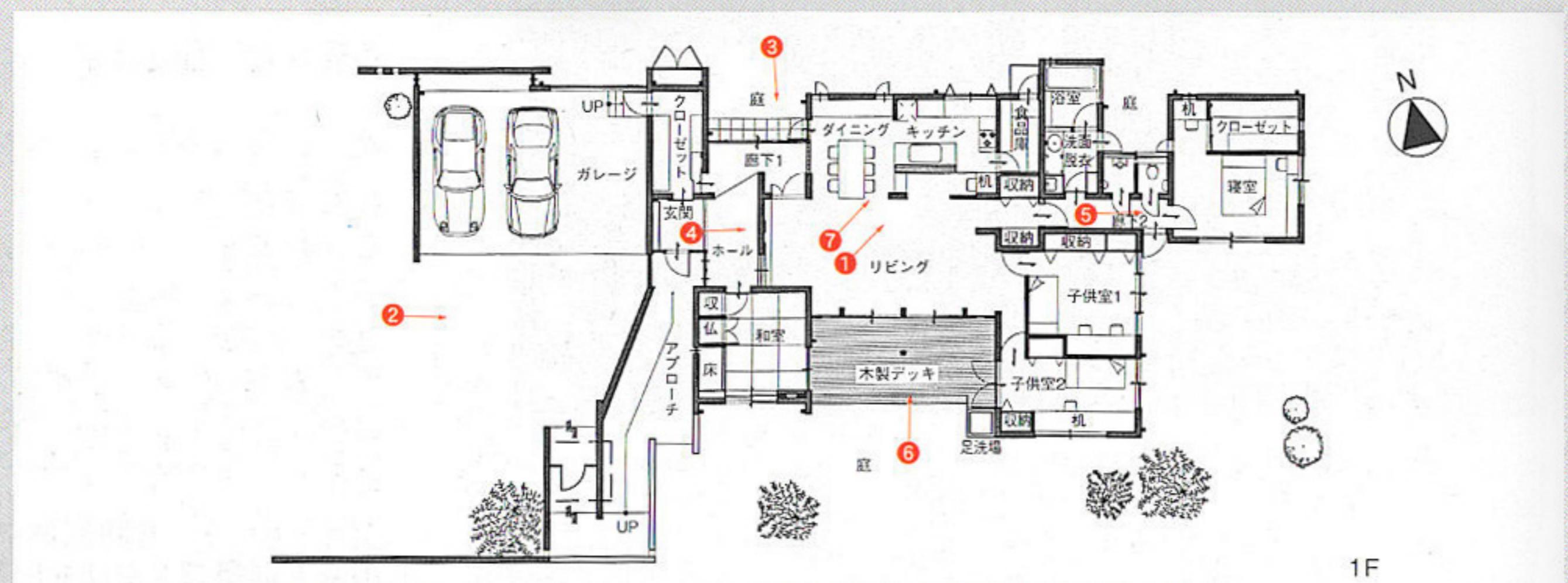
047 堀 武治

光あふれる、自然を感じる家

一級建築士事務所 堀武治建築事務所



さかいたけはる／1968年熊本市生まれ。1993年(有)SDA建築設計事務所入所。1999年堀武治建築事務所設立。



設計者から

敷地は自然豊かな丘陵地にあり、建物を建てるという行為自体が環境に対して後ろめたさを感じるような場所である。この豊かな自然を、建築主からの要望であるコンクリート造の建物の中にできるだけ取り込み、幸せな生活が送れる家がつくれればと考えた。

配置計画としては、高さができるだけ抑えた平屋と東西に伸びる配置としている。比較的交通量の多い接道側（西側）は限りなく閉ざし、プライバシーを保護すると共に騒音や西日を遮るようにし、南側は芝張りの庭に向けて開く形をとっている。屋内の仕上げに関してはコンクリートと金属やガラスというシャープな印象の素材だけでは、本能的に人間が欲する安らぎを満たすことはできないと考え「木」を使用することを提案した。

家族が集うリビングは、木造とし柱・梁（構造材）を露出させ、全面ガラス（南面）と吹抜け空間にすることで、アプローチ＆エントランスから続くクールなイメージとは違う伸びやかで温かい空間をつくりだそうと考えた。コンクリート打放しの内装であっても、光がふんだんに入るこのリビングは住人に安らぎと開放感を与える。さらにリビングから屋外へ続く木製デッキを設けることで、屋内外の境界を曖昧にし、室内に居ながらも外に居るような錯覚＝自然を感じてもらえるよう意図している。キッチン部分にはガラスブロックのトップライトを設けることで天気や時間の移り変わりを感じることができ、雨の日にはユラユラと水が揺らいでいるのが分かり五感の刺激を受ける。この家は雨の日でも昼間はまったく照明が必要ないほど明るく、開放的であり、自然の変化を存分に体感できる家だと思う。



①リビングよりダイニングを見る ②西側外観（接道側） ③北側外観 ④エントランスホール
⑤リビングから寝室への廊下 ⑥リビング南側の木製デッキ ⑦ダイニング・キッチン（1～7撮影：堀武治）

住み手から

建築家の出会いと依頼を決めたきっかけは？

堀さんとは、以前からの友人であり、彼の建築についての考え方、ポリシーなど私自身もよく理解をしていました。自宅建築に際しての設計は、堀さん以外には考えられませんでした。

住まいづくりにあたり何を一番建築家に要望しましたか？

鉄筋コンクリート造平屋建にすることにより、いろんな角度からの光を取り込み、家の中でも心地のいい風を感じることのできる建物を要望いたしました。

実際に住んでみての感想を一言

何よりも明るい。それにより家族全員の心までもが日々の生活において前向きになります。また、リビング南側の大窓により、日本の素晴らしい季節感を味わうことのできる自然と調和した住宅だと思います。

堀さんてどんな人？

建築についての情熱がすごい。建築主の要望も聞きつつ、堀さん自身のコンセプトもしっかり持っており、時間をかけて、じっくり話し合いを重ねながら設計を進めてくれます。建築家としてのセンスも素晴らしいと思います。

DATA

名称	Y邸	設備設計	小西設備設計事務所
所在地	熊本県菊池市	施工	上林工業(株)
用途地域	指定なし	設計期間	2001年10月～2002年5月
構造・規模	鉄筋コンクリート造・平屋	工事期間	2002年9月～2003年5月
敷地面積	1,051.40m ²	総工事費	4,000万円
建築面積	228.72m ²	設計監理料	280万円
延床面積	219.70m ²		(総工事費の7%)
設計監理	堀武治建築事務所	家族構成	夫婦+子ども3人
構造設計	川島構造計画事務所		

一級建築士事務所 堀武治建築事務所

所在地	熊本市近見2-13-29	TEL	096-353-0805
FAX			096-353-0809
URL			http://ts-arc.blog.ocn.ne.jp/tsakaiarc/
E-mail			ts-arc@themis.ocn.ne.jp
最寄駅	熊本駅	業務時間	9:00～18:00（日、祝休）
業務時間		住宅以外の設計	集合住宅、オフィスビル、店舗など

住宅設計で大切にしていること

人それぞれ育った環境が違うように、価値観・ライフスタイルもそれぞれ違うはずです。その「違い」を形にすること（建築主の想い・こだわり・好みを理解し、夢を形にする）が私の仕事だと考えています。心から愛着を感じる世界に一つしかないONLY ONEの住宅を一緒につくりたいと思います。

得意分野

戸建住宅、集合住宅、商業施設など

家づくりへのアドバイス

あまり急がずじっくり時間を掛けること。時間を掛けた分だけ、愛着も湧き、家も応えてくれると思います。そして自分の考えや好みを共有できる建築家を選定し、じっくり共同作業を行うこと。

私はこんな人間です

好きな場所／海、森 好きな建築／シンプル・モダンな建物 好きな音楽／JAZZ 愛読書／建築雑誌 座右の銘／常に自然体 建築家になろうと決めたきっかけ／子どもの頃からの夢だったため（理由不明） 小学校の卒業文集で設計士になろうと書いている 今一番の関心事／二人の子どもの成長。自分のつくりたい建築と建築主の求めている建築とは何かということ